

一般質問



議員が町政を質す！

9月定例会では、8人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、9ページから13ページです。

質問議員（質問順序）								質問項目
小畑 博司	佐藤 宗太	渡部 正司	横山 智代	赤城 大地	物江 政博	五十嵐 一夫	水野 孝一	
① 財政健全化を問う	② 農業行政と観光行政について ① 職員の意識改革と事務事業の抜本的見直しについて	① 行政区要望事項について	④ 職員の適材適所への配置について ③ ゴミ袋販売価格について ② 国民健康保険税について ① 学校統廃合による空建物について	③ 御田植え祭の無形文化財指定の可能性について ② 部活動指導員の活用について、町の考えを問う ① 社会体育に係る事務について	② 鳥獣被害の実態について ① スポーツ振興について	② 町の法令順守（コンプライアンス）を問う ① 町長の政治資金感覚を問う	② 予算編成を行う町の基本的な考え方を問う ① 会津坂下町の公共交通の在り方は	
13P	12P	12P	11P	11P	10P	10P	9P	頁

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。

第3回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議会を推進するため一般質問を録画配信しています。

町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。



議会傍聴へおいで下さい

令和元年第4回定例会は、12月5日から13日までの会期（予定）です。一般質問は12月9日(月)、10日(火) 午前10時開会予定です。

議会を代表しての質問



議会改革の新たな挑戦～町民に信頼される議会を目指して～



水野 孝一議員

会津坂下町の公共交通の在り方は
町に合う公共交通を目指していく

問 現在の利用状況と課題は。

答 通学時間帯の利用は多いものの、それ以外の時間帯の利用は少ないことが課題となっています。また、運転免許証自主返納者の増加が予測されることから、高齢者の生活を支えるバス路線となるよう問われています。

問 町と議会、お互いの案を示して利用しやすい公共交通にしたいが町の見解を問う。

答 議会からの提案を受け、町の施策として実施していくべく、お互いに研究・協議しながら、住民の生活を支える交通手段を確保して、誰もが利用しやすい公共交通にしていきたいと思います。

問 予算編成の町の基本的な考え方は今後5年を財政健全化最重要期間とする

問 今後の予算編成や財政の詳細な状況、歳出削減計画について住民説明会の開催をすべきではないか。

答 令和6年度までの第六次会津坂下町振興計画の前期計画期間の5年を財政健全化最重要期間と位置づけ、財政健全化に向けた取り組みを強化することとしています。教育施設適正配置による施設等の起債の償還がピークを迎え、財政調整基金も本来の役割を果たすことができな規模に縮小しています。令和4年度から令和7年度までの収支が赤字と示されており、「会津坂下町財政健全化アクションプラン」を策定次第、広報等や住民説明会を開催し情報の共有を図り、ご理解、ご協力をお願いしてまいります。



議会に示された財政健全化アクションプラン

<p>Q：「議会を代表しての質問」とは？</p> <p>A：代表質問は、一般的に政党や会派を代表して行われます。会津坂下町議会には会派はありませんが、議会において質問する議員や内容等を調整して、議会全体を代表して質問をすることを言います。</p>
<p>Q：実施する目的は？</p> <p>A：「議会を代表しての質問」をするため、質問内容を議会内で検討することで、議会議員同士の協議が活性化し、町政の課題を共有しつつ、より町民に信頼される議会になっていくことを目的としています。</p>
<p>Q：一般質問と何が違うの？</p> <p>A：一般質問は、議員個人が町政に対して独自の観点で、町の考えや方針を問い質すのに対して、「議会を代表しての質問」は、議会全体の観点で、問い質すこととなります。そのため、議会全体の共通課題という重要な答弁となるため、町の代表である町長だけが答弁を行います。質問時間は、一般質問と同じ50分で、順番は一般質問に先立って実施されます。</p>
<p>Q：今後も続いていくの？</p> <p>A：現在は、試行期間であり、平成31年第1回定例会と今回の実施された結果を踏まえて、次回以降も継続するか検討していきます。</p>



赤城 大地議員

体育館の利用について今後の対応は

利用団体と協議してまいります

問 夜間、社会体育施設として開放している小中学校の体育館等の利用方法が大きく変更となった。その理由と今後の対応について伺う。

答 小中学校の教育施設である体育館などの開放につきましては、本年度よりその業務をシルバー人材センターに委託しないこととしたため、利用時間の繰り上げや、利用団体による施設の実施など、利用方法が大きく変更となりました。

本年3月には関係各団体に対し説明会を実施しましたが、更なる対応として、各利用団体と再度協議し、課題や解決策の検討を行ってまいります。

部活動指導員の活用について

今後の調査事項であると考えます

問 教員の多忙化解消のため国の施策として制度化された「部活動指導員」に関して、その活用について町の考えを伺う。

答

部活動指導員については教員の多忙化解消や部活動の質的向上につながるという効果が期待できると考えております。しかしながら、義務教育での部活動の意義や制度の趣旨を十分に理解していただける人材の確保など、課題も少なくありません。現時点では活用しておりませんが、今後の調査事項であると考えます。

部活動指導員

教員の多忙化解消策の一環として平成29年度より制度化された。中学校または高校で部活動の顧問と協力しながら指導や大会等の引率を行う、その学校の教員ではない指導者のこと。

現在、町では中学校における部活動で外部指導員の方にご指導いただいているが、部活動指導員は外部指導者とは責任の所在などについて法的に異なる。



横山 智代議員

未利用校舎を今後どうするのか

維持・管理に努めてまいります

問 学校統廃合による空建物（小学校、幼稚園等）の今後は。

答 平成25年に「会津坂下町町有財産審議会」を設置し、耐震基準を満たさない施設については、「将来的に解体する」といった答申が出ています。現在遊休施設となっている施設は、若宮・片門の小学校・幼稚園の4施設あります。老朽化も著しくなっており、財政的に直ちに解体することは困難なため、定期的な点検を実施し、維持・管理に努めますが、利活用を希望する団体があれば、町として支援策を講じてまいります。

問 国保税の子どもにかかる負担軽減について（子どもの均等割）。

答 国民健康保険には社会保険とは違い扶養という考え方はなく、加入者すべてが被保険者となるため、生まれたばかりの赤ちゃんも生まれた



未利用の施設の今後は
(旧若宮小学校)

これも質問

問 ごみ袋の販売価格について。

答 増税に伴い町民の皆様への負担は増加します。

問 職員の適材適所への配置は。

答 個々の職員の能力を活かした配置活用に努めます。



渡部 正司議員

行政区要望の回答への不信を どうみるか
地区役員と連絡し 現地確認を行っています

問 各行政区からの要望に対する回答が、事務的で納得が得られず、不信やあきらめを招いている現状をどのようにみているか。また、各行政区の果たすべき役割をどう考えているか。

答 要望書を頂くことで、行政区が困っていること、他、道路・河川などで支障が生じている箇所を把握し、地区役員の方と連絡を取りながら現地確認を行っています。各内容を担



要望の多い道路改修

当部署で検討し、行政で対応すべきもの、各行政区での対応をお願いするものなどに整理しながら進めております。行政区内の問題についても、何が必要で、そのための取り組みを、誰がどのように担っていくのかを、役員の方を中心となつて、相談や意見を取りまとめて頂き、行政等と連携協力・役割分担をしながら、まちづくりを進めて頂きたいと考えております。

不信にこたえる向上策は 重要性等を考慮し事業化を進めます

問 不信やあきらめに対応する具体的な向上策をどのように考え、実践していくのか。

答 限られた財源の中、重要性や経済効果、安全の確保などを考慮しながら事業化を進めてまいります。緊急性の高いものについては、現地確認のもと速やかな応急対応を行うとともに、各行政区の役員の方々と連携を図りながら対応してまいります。

町職員の意識改革の取り組みは



佐藤 宗太議員

町職員の意識改革の取り組みは 「職員研修」「適切な人事管理」「職場環境の整備」など進めています

問 町職員の意識改革の取り組みは、職員意識改革を通じた、自己啓発や職場研修・職場外研修と

いった「職員研修」、また、職員一人ひとりの持つ能力を最大限発揮させることを目的とした「適正な人事管理」、さらには、組織としての業務成果をあげることを目的とした「職場環境の整備」などを進めているところであります。

今年度の農産物の輸出の取り組みは

「会津みしらず柿をタイ王国へ10トン、マレーシアに2トン出荷予定です」

問 今年度の農産物の輸出の取り組みの現状は。

答 「会津みしらず柿販路拡大促進協議会」におきまして、11月上旬に会津みしらず柿をタイ王国へ10トン、マレーシアに2トン出荷を予定しております。

問 オリンピック選手村へ本町食材や加工品等を提供することは

路拡大に繋がると考えるが。

答 「東京2020オリンピック選手村」で、会津坂下町産の農産物が提供されることは、安全で高品質であることと併せて販路拡大にも繋がることから積極的に支援してまいります。



タイのバイヤーが会津みしらず柿の生育状況を視察に来町

これも質問

問 農産物輸出と合わせたインバウンド促進をどう考えるか。

答 農産物輸出の際は、販売促進と共に、誘客に向けたPRを進めます。



小畑 博司議員

財政健全化を
どのように進めるのか
大きな公共事業について、抜本的な
見直しが必要であると考えています

問 受益者負担の強化も始まっているが、効果は小さいのではないかと。町民と財政状況を共有化し、事業の大胆な見直し計画を示すべきでないのか。

答 財政の健全化を達成するためには、歳入の確保と歳出の抑制が必要です。歳入確保については、公共施設の使用料の見直しや、未利用財産の積極的な活用をはかります。歳出の抑制は、公共施設の管理・運営方法の見直しや未利用施設の廃止等を計画しております。また、将来負担の軽減を図るために大きな公共事業の抜本的な見直しが必要だと考えています。

問 中山間地は優良な農地を維持し、コミュニティを維持していくことも大変だ。国策である直接支払制度の凍結を解除し担い手の元気を取り戻すべきではないのか。

答 直接支払制度の一部凍結は、財政健全化推進のため、やむを得ない判断でした。地域の皆さんへの当面の支援としては、担い手への農地の

集積・集約化、遊休農地の発生防止や解消を進め、生産コストを削減した農地利用の最適化推進を図って行きます。



管理が大変な中山間地

これも質問

問 財政悪化の要因は何か。

答 必要な時に必要な事業を実施した結果です。

問 厳しい財政下でのまちづくりの柱は何か。

答 コミュニティセンターを拠点とした「みんながつながり、夢や希望をかなえることができるまちづくり」を目指します。

議員提案で
 条例を改正

令和2年4月（議員改選後から）
議会の組織体制はこうなります

次回の会津坂下町議会議員選挙(令和2年3月)から
議員定数16名から14名に

9月定例会にて、次期改選後、議員が2名減となる議会構成に対応するため、委員会条例の改正をしました。議会組織の新体制をお知らせします。



将来の会津坂下町議会を考え、議会改革特別委員会を中心に活発な議論が交わされました

議会運営委員会
 ①構成人数を変更
 6名で構成してきたが、4名に変更

常任委員会
 ①委員会数を変更
 3つの常任委員会を2つに変更する。
 ②新しい常任委員会名称と構成人数
 ・総務産業建設常任委員会（7名）
 ・文教厚生常任委員会（7名）

特別委員会
 ①議会報編集特別委員会の名称変更
 これまで議会報編集特別委員会から、「広報聴特別委員会」に変更する。
 ②構成人数を変更
 6名で構成してきたが、5名に変更